

## 事業者選定における評価項目

項 目	ウェイト
1 賃料	50
<p>2 安定的・継続的な店舗運営</p> <p>(1) 類似店舗における経験及びノウハウ</p> <p>(2) 効率的・安定的な物流システム、商品管理システム</p> <p>(3) 従業員の教育・訓練の具体的体制や考え方及び従業員の配置体制</p> <p>(4) 利用者・従業員の防犯・防災等の安全管理体制</p> <p>(5) 食品衛生管理、事故防止の体制及び事故への対応策</p> <p>(6) 健全な収支計画        収支計画書には当該店舗の年間売上高・年間客数・客単価、原価・人件費のほか、店舗設置に要する初期設備投資額について記載        なお、初期投資等により単年度収支見込みが赤字となる場合は、コンビニエンスストア運営者として、当該赤字を吸収する見込みや考え方などについて記載</p> <p>(7) 利用者からの要望・クレーム等への対応</p> <p>(8) 官公署・市町村などにおける出店の実績・事例        官公署名、出店開始年度、現在の状況（出店中、令和〇年度に退去・廃止など）</p>	20
<p>3 環境への配慮</p> <p>(1) 緑化面積の確保        コンビニエンスストア用地内に確保した緑化面積の数量を記載すること。        緑化面積の考え方については「川崎市緑化指針」を参照。  <b>緑化面積については事業提案書中の「コンビニエンスストア用地全体の平面図」と一致すること。</b>  <b>また、緑化箇所の整備方針及び維持管理方法も記載すること。</b></p> <p>(2) ゴミ対策        営業に伴って発生する商品・包装等の廃棄物を適正に処理するための方法・措置        利用客が出したゴミの清掃等        周辺の美化活動への参加の取り組み</p> <p>(3) 脱炭素化に向けた取組み        省エネルギー設備の導入等、脱炭素に向けた取組みを記載すること。</p>	20
<p>4 周辺交通への配慮        駐車場レイアウト、大型車両の駐車台数及び動線、駐車場・歩道における</p>	20

歩行者への安全対策、路上駐車防止に向けた取り組み・考え方	
<p>5 商品・サービスの内容</p> <p>店舗で販売を予定している主な商品・サービスの構成</p> <p>※特に需要の高いATM、宅配便の取扱いについては、必須とします。</p> <p>また、医薬部外品の販売については必須とします。医薬部外品については、販売を予定する商品の種類（健胃薬、整腸薬、消化薬、生薬を主たる有効成分とする保健薬等）を記載してください。</p> <p>※販売にあたって薬剤師や登録販売者の配置を必要とする一般用医薬品を取り扱う場合は加点要素とします。</p> <p>※立地環境及び利用客層に即したサービス提供をする上で重視した点があれば記載してください。</p>	20
<p>6 川崎港の広報及びマリエン周辺地域の活性化に関する提案</p> <p>(1) みなとまつり等とのタイアップや連携</p> <p>(2) 指定管理者、イベント主催者等との連携</p> <p>(3) 川崎港の広報への協力</p> <p>パンフレット、イベント案内の設置等</p>	10
<p>7 その他（アピールすべき事項等）</p> <p>当該店舗の独自性、出店に際しアピールすべき事項・優位性のあるもの・強みを記載</p>	10